

分担金・拠出金の名称	シナイ半島駐留多国籍軍監視団(MFO)拠出金	平成28年度 予算額	5, 845千円	総合 評価	C
拠出先の国際機関名	シナイ半島駐留多国籍軍監視団(MFO)				
国際機関の概要	MFOは、過去4度にわたって戦火を交えたエジプトとイスラエルの停戦確保を図っている組織であり、MFO展開後、現在に至るまで、エジプトとイスラエルとの和平は維持されており、中東和平実現の基礎となっている。エネルギーの安定供給等を実現する上で、我が国のみならず国際社会全体にとっても死活的な重要性を有する中東地域の安定に重要な役割を果たしてきている。				
評価基準		達成状況			
1. 当該機関等の専門分野における影響力・貢献		MFOの監視・確認活動により、エジプトとイスラエルとの間の停戦合意の履行は確保されており、両国国境地帯の平和は維持されている。これにより、包括的な中東和平達成に向けた環境が確保されている。国連安保理内の立場の相違から国連平和維持軍(PKO)が設立できなかった等の経緯から、MFOの他に本件停戦監視オペレーションを実施できる機関はない。			
2. 我が国重要外交課題遂行における当該機関等の有用性(意思決定における我が国のプレゼンスを含む)		本件拠出金は、我が国の中東和平における貢献とプレゼンスを確保する上で極めて重要。本件拠出金は、MFO本部(ローマ)で立案する事業の内、文民職員の給与と監視活動にあたる軍人の食糧調達費に使用されるが、MFOの活動状況、我が国の拠出金の使用状況、シナイ半島の情勢等については、本部(ローマ)、エジプト、イスラエルの司令部と我が国大使館との協議が定期的に行われている。			
3. 当該機関等の組織・財政マネジメント		MFOの財務状況については独立の外部監査が入り、年次会議において我が国を含む拠出国に対して報告書が提出されている。また、MFOによる燃料費等活動費の支出を抑制するなど、経費削減に向けた努力が絶えず行われている。			
4. 当該機関等における邦人職員の状況		邦人職員はいない。他方で、年1回の年次会議に在イタリア日本大使館の代表が参加し、我が国の意見を述べている他、エジプトとイスラエルの駐在武官が定期的にMFO高官と面会し、活動状況、現地情勢等について協議を行っている。			
5. 我が国拠出の執行管理、PDCAサイクルの確保		①計画段階(Plan): MFO本部が実施計画を策定。毎年10月に開催される総会でMFOから提出された事業計画を精査し、必要に応じ内容を修正した上で承認。②実施段階(Do): 在外公館による現地視察・MFOとの協議等により、事業を適切にモニタリング。③評価段階(Check): 最終報告書を確認し、計画どおりの成果を上げているか評価。外部監査機関による会計報告書を評価。④フォローアップ段階(Act): MFOとの不定期の協議を通じて、事業運営を改善。			
担当課・室名	中東アフリカ局 中東第一課				